

大盛会で幕開け、作品研究会

いよいよ6月より作品研究会が開始されました。どれだけの人が集まるのか最初懸念されましたが、予想以上の19名の方が参加され、例会なみの盛会でした。今回は、あらかじめ関世話役が、大阪城のいろいろな角度からの映像を希望者にDVテープにダビングして渡し、その与えられた映像をもとに各自3分以内に編集して持ってくる、という研究会テーマで行われましたが、13名の方が持参されました。同じ素材でも作者によってこうも違って来るものだという見本が次々に展開し、勉強になりました。

またBGMの選曲によってムードもかなり違って来るものということも実感しました。

総じていえることは、大阪城の何を主に表現したいか、強調したいか、ねらいをはっきりさせたものの方が、作品の質を高めていたのではないということです。しかし皆さん、さすがに上手にまとめておられました。

7月は、秋の公開映写会に向けて、自由作品のうち、どうまとめてよいか、とかアドバイスを受けたいという未完成作品をお持ちください。例会では十分な意見の交換や助言などしている時間がありませんので、研究会の席を大いに内容を深めていく場にしたいと思います。8月は那須氏の撮った女性出演の映像素材を基にして、各自で自由に構成、編集して頂くというテーマを予定しています。DVテープは近く準備します。(合原)

7月例会と研究会のお知らせ

7月例会は24日(第4土曜日)午後6時より、阿倍野市民学習センター(あべのベルタ3階)で開催します。今月も午後1時半より「作品研究会」を開催します。この秋の公開映写会に向けて作品を制作している方を中心に、現在制作中の作品を持ち寄り編集のアドバイスなどを考えています。どんな作品でも完成間近いものがあれば一緒に研究しましょう。通常例会を含めて大勢の会員さんのご参加をお待ちしています。

6月例会のレポート

今月から新たに「作品研究会」が発足し午後1時から開催しましたが、予想以上の会員さんの参加があり、関さんの撮影された「大阪城」の83カットの映像をどう編集するか(3分以内)を熱心に質疑応答しながら研究しあいました。15本もの作品が寄せられ、司会の合原さん、関さん共々有意義な研究会の成功を感謝しました。来月からも毎月議題をかえて開催してゆく事を決議しました。今後ともご協力をお願いします。引き続きの例会は司会、関さん、書記、有村さん、デッキ係に渡辺さん、奥さん、受付兼証明係を安居 良枝さん、増池さんの担当で進行しました。

今月は、ほかから椅子を多数調達するほどの集まりで大盛会でした。

◆出席者：有村、岩井、今井、江村、岡本、奥、金子、勝、上総、合原、越本、関、末岡、高田、那須、中尾、華岡、前田、松本、増池、森、森口、森下、渡辺、安居夫妻、以上26名の皆さん(敬称略)。

◆上映作品(今月の記録と講評担当：有村 博)

1) 雨、後、晴れ 増池 茂さん 6分40秒

リチャード・クレイグマンの軽快なピアノにのって京都植物園と加茂川岸が出てきます。題名通り前半は雨で後半あがります。それにあわせて何やら撮影会らしい集団が出てきていたのが、後半居なくなります。雨のあがった頃から撮影会での撮影がどうも物にならないと思ったら、そこで方針を転換して自然の情景描写を中心にした作品にするよう撮影をやり直したとしたら、せっかく現地まで行かれた努力も報われるのではないのでしょうか。思い込んで撮影に行き失敗したカットを全部外す勇氣も必要ではないのでしょうか。

2) るり溪散策 音を求めて 奥 宏さん 6分20秒

京都府の名勝るり溪を訪ねて若者たちや家族連れなどをいれて気軽に散策を楽しんだ作品のようです。でも肝心の溪谷美の表現には三脚が必需品でしょう。司会者との間でマイクなど収録談義がありましたが、最初から音を求めて作るのでしたら、カメラの収録マイクや小型録音機では無理のように思われます。

3) 備中 吹屋 安居 良枝さん 7分50秒

他クラブの撮影会の作品です。染色材料の「べんがら」の産地であり、銅の鉱山でもあった岡山県吹屋町もご多分に漏れず町おこし、村おこしの最中のような様子。現地滞在時間3時間そこそこの撮影でこれだけの物を作られる努力には何時もながら敬服いたします。

4) べんがら物語 安居 利次さん 7分30秒

奥さんと同行されて、「今ひとつべんがらってわからへん」というナレーションを引き継いで作られた作品です。現地に置かれた資料を沢山収集されて研究されたのは勿論、図書館での書類からの知識など、私達にも解りやすい作品に仕上げてもらえます。短い滞在時間の中に「吹屋」は近代日本の故郷のように感じたと言われるだけの感性をお持ちで、立派な作品だったと思いました。

- 5) 古道幻影 (参考作品) 関 剛さん 13分40秒
 6月初めに熊野古道で行ったOMC撮影会の監督の作者が、数回行かれたロケハンの時の映像と数人の映像提供のカットを下に、参考作品として披露されたドラマ作品です。さすがに自作のシナリオに忠実に、アクション繋ぎや詳細なカット割りなど重厚で見事な作品に仕上がっていました。これ以上は役者の演技など越えられない枠があるようですし、こんな作品を最初に出されると、後が出せないとの会員さんの声が心配でした。
- 6) 華花の競艶 金子 博泰さん 3分40秒
 雨に濡れた花菖蒲、紫陽花と続いて次にチュウリップが何故かです。ツツジが出て、再び元の雨に濡れた菖蒲に戻って終わります。普通の紹介でしたら季節に合わせて順番に見せるのが常道のようにですが、どうも違うようです。短い絵残りが2箇所、ついでに華花はワープロを打ちますと「花々」と、競艶は「嬌艶」と出ます。これもどうも違うようです。独自の世界でこれからもどうか頑張ってください。
- 7) 熊野古道で ヨーイスタート 有村 博さん 9分46秒
 OMC撮影会の監督関さんを中心にドラマの制作状況を記録したものです。皆さんの助言を頂き、現地でお世話になった皆さんの姿をもう少し入れて再度作り直すつもりです。出来れば熊野古道体験博覧会テーマソング(小椋 佳 作詞作曲 歌)があるそうで、これも入れて現地の人々に喜んでもらえたらなんて思っています。
- 8) 初夏の色 江村 一郎さん 3分24秒
 作者独特の奔放で動的な映像美で初夏の花々をみせてくれます。桜は例え八重でもチュウリップと共に春の花というのが常識ですし、色というタイトルですから最後の夜景はどうもね・・・というご意見がありました。
- 9) 生きる 末岡 健司さん 14分00秒
 黒澤 明の名作と同名の映像、大いに期待しましたが、残念でした。たぬきが出てきてしばらくはいいのですが、その後は長尺カットが延々と続きます。室内を真っ暗にして大勢の人が声もたてずに画面に見入っているのです。テレビならスイッチを切れば済みますが、例会はそうはゆきません。2次会での会員の皆さんの声を集約します。「チョット長がすぎるんチャウ。半分でエエ思うで・・・」「半分どころか、あれやったら、4、5分でエエとこやで」。先月の努力作「炎の記憶」との落差に合点のゆかないのは私だけじゃなかったようです。
- 10) エキゾチック 長崎の印象 那須 典彦さん 8分50秒
 原爆記念碑、長崎の鐘、オランダ坂、グラバー邸など観光名所を次々に紹介し、三脚でがっちり決めた美しい構図を見とれているうちに、市内の舞台でのお祭が始まります。有名な「長崎くんち」だそうで、後から聞いて納得したような次第で伏線にポスターだとか看板もしくはテロップでもちょっと紹介してくれたら何も知らない私達も安心して見れたのにと思いました。
- 11) 冬・高野山 前田 茂夫さん 9分17秒
 昨年の高野山でのOMC撮影会作品コンで最優秀賞だった作者が今度は

厳寒のこの地に再度挑戦された秀作です。雪の降る大塔伽藍から奥の院の水向地藏までよどみなく流れます。ここで水の伏線をおいて、先に奥の院を紹介し、水行の人たちを最後に締め括った方がより余韻のある作品になるのでは、というのが大方のご意見でした。ご一考を。人が何かを熱心に行っている姿は、こんなに感動を呼ぶものなんですね。

12) 水の生まれる町 森口 吉正さん 9分10秒

岐阜県の郡上八幡を訪れた作者は、ツアー旅行ではなく単独の行動をされたそうで、単に通り返りの観光ではなく、この地の水をテーマにされたのがこの作品の成功につながったと思われます。折角のご旅行での取材ですから、もう少しがっちりした三脚での撮影を心掛けると画面の小揺れがなくなり、より見易く立派な作品になると思いました。

13) バリのケチャックダンス 高田 淳吉さん 8分20秒

バリを訪れた時の観光ショーの音楽劇を丸撮りされてその筋を解説されています。蠟燭の灯りだけの薄暗い画面では画角の変化（アップとかロング）も付け辛いでしょうし、カメラの場所移動も出来ないでしょうから、同じ角度のままになります。劇の内容ではなくこの被写体から作者が何を感じ、見る人に何を伝えたいのかが解りません。これが私達作品を作る者にとっての一番重要なことではないでしょうか。

以上で会員さんの作品上映を終り、何時ものように喫茶店と居酒屋に別れて2次会を楽しみました。

■安くなったDVテープ

日本橋で半年前に800円/本で求めたソニーのDV60分テープが、このほど買いに行ったら730円に値下がり、念のため他の店を調べたら5本1箱3440円（1本当たり688円）という店があって、値下がりの激しさに驚きました。更に他メーカー品は100円は安いようです。（私はトラブル時のことを考えてソニーのものしか使っていませんが）。またDV標準テープ120分もので5本入り9270円（1本当たり1854円）と2千円を切る値段にも大満足でした。ちなみにその店は、日本橋3丁目の高島屋別館の並びを南に下った5丁目9-12谷川電機（ソニーのアビックより100m程北側）という店です。ここより安い店があったら教えてください。（合原）

■第5回日本アマチュア映像作家連盟映像作品発表会は7月31日（土）

同上発表会は回を重ねて早や5回目、今回も阿倍野市民学習センターで7月31日（土）12半開場、13時上映で行われます。全国のアマチュア映像作家による作品観賞は、作品制作上大いに勉強になります。今回もぜひお越しください。なお、お時間の許す方は当日10時半より会場設営の準備をしますのでお手伝いをお願いします。

